

木更津市都市計画公聴会における公述の申出内容に対する市の考え方

公述の対象:木更津都市計画 用途地域の変更

公述人	公述の申出内容の要旨	市の考え方	案の変更
1	<p>木更津は歴史文化都市だということを忘れていません。木更津は古来より歴史ある文化都市だったのです。</p> <p>まず、みなと口については木更津船による江戸文化の流入によってその文化の栄華を誇りました。それは与三郎歌舞伎に代表されるものです。</p> <p>太田山も古来より歴史文化財の宝庫です。博物館はじめ、旧安西家住宅、12個の石碑、周囲4kmある広大な公園、君去らずの塔、刀八神社、太田山古墳、太田山地下壕。これが実にもったいないのです。太田山の地下壕を戦跡公園として開発すれば、観光立県として、観光立市として、知事という歴史文化財の掘り起こし・磨き上げは、そのものずばりです。</p> <p>危惧されるのは高齢者と若い世代との間における、木更津の歴史文化財の断絶です。そのためにも、木更津の歴史文化財の見直し学習が必須です。真実の歴史文化は、まちづくりにとって、絶対必要なものです。これを知ることによって、子供たち、若い世代に、将来への未来の光り、まちづくりの光りが見えてきます。</p> <p>来年度から「公民館」が地域交流センターとなり、まちづくりが全庁的に行われようとしています。それだけに若い世代と高齢者、さらには役所と市民が一体となって「協働のまちづくり」が必要になってきます。これを前提に、是非とも「市民主役のまちづくり」にしてください。</p>	<p>「内房広域都市圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の変更案(以下、「本計画案」と言う。)においては、「集客力の高いスポットへのアクセスを向上させ、観光資源の魅力を高めるなどにより、持続可能な地域づくりを進める」とし、「木更津市の歴史、風土を活用した歴史公園、住民が身近に自然環境に接することができる場としての河川緑地や谷津の緑地等を都市緑地、風致公園、地域制緑地等により確保する」とし、太田山公園を総合公園としています。</p> <p>「木更津市みどりの基本計画」では、太田山公園を木更津駅周辺地区におけるみどりの拠点として、緑化重点地区に設定し、魅力向上に向けた取組を推進するとしています。</p> <p>本市といたしましては、いただきましたご意見を参考に、今後も引き続き、魅力ある公園づくりに取り組んでまいります。</p> <p>本計画案においては、「公民館を、地域交流センターへ移行することに伴い、地域コミュニティ形成の要として、交流人口の拡大や地域の活性化につながる空間の創出に努める。」としています。これは「木更津市第3次基本計画」に掲げた「地域の課題の解決に自ら取り組む「市民力」、「地域力」の高いまちをめざし、地域自治の更なる推進に向け、地区まちづくり協議会と連携するとともに、市民活動支援センターを活用し、市民協働を推進する」取り組みの一環です。</p> <p>本市としましては、今後も引き続き、市民の皆様と協働によるまちづくりを推進してまいります。</p>	なし